

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 57-58 ページ)

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	12 人権・多様性の尊重

★ 目指す姿

誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を発揮できる社会が実現している。



4

みんなの健康と福祉

5

エンジニアリング

8

働きがいのある
職場環境

10

人間の平和
を守る

16

平穡な社会
をつくること



16

平穡な社会
をつくること

■ 施策の主な取り組み

① 人権啓発の推進と学習機会の提供

人権に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の人権への理解や認識の向上を図ります。
--

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合観察
①-1	人権啓発事業	香芝市人権教育推進協議会や各種団体と連携し、広報活動やセミナー等を開催し、市民へ人権に関する正しい知識や情報を提供します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初			目標値		
			(R1)	R6	R10	R14		
市民集会参加者数	人	「人権を考える香芝市民集会」の参加者数	150	180	220	250		
人権啓発事業認知度	%	人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した人数／全回答者数(事業参加者対象)	64	70	80	90		

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
150	180	300	300	166.7%	市民環境部 市民協働課
62.9	70	60.1	58.2	83.1%	市民環境部 市民協働課

② 男女共同参画によるまちづくりの推進

男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。
--

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合観察
②-1	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会への理解を深めるため、父子を対象とした体験型の講習会の実施や市民を対象とした学習会等を開催します。また、関係機関と連携し、女性の就労支援に係るセミナーの実施や相談窓口を開設します。また、女性の視点を政策方針に取り入れるため、市の審議会への女性登用を促します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初			目標値		
			(R1)	R6	R10	R14		
市職員の管理職に占める女性割合	%	市職員の女性管理職数／市職員の管理職数	29.7	30	30	30		
市の審議会への女性委員登用率	%	審議会等における女性委員数／審議会等における委員数	26.4	30	30	30		

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
37.3	30	40.0	40.0	133.3%	市民環境部 市民協働課
26.1	30	25.6	25.7	85.7%	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	今後の方向性				担当所管
					3視点	所管判定	成績の方向性	コストの方向性	
今年度の事業実施計画									
①-1	人権啓発事業	【実績】 「くらしを考える講座を6回(4月・6月・7月・9月・12月・12月)開催した。参加者数:511名(市民集会除く)。 ・市民集会を7月に開催した。参加者数:300名 【課題】 ・人権啓発事業認知度につき、昨年度から下落し目標達成には至らなかったことから、より多くの人に人権啓発事業について知り、参加してもらえるよう、周知方法や講演内容について検討が必要。	B	56 67 72	現状維持 現状維持	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入			市民環境部 市民協働課
②-1	男女共同参画推進事業	【実績】 ・男性いきいきセミナーを2回(8月、11月)開催した。参加者数:42名 ・マザーズセミナーを2回(7月、3月)開催した。参加者数:30名(見込) ・男女共同参画推進委員会を2回(8月・2月)開催した。 【課題】 ・参加人数は昨年度とはほぼ同様であるが、今後より多くの人に参加してもらえるよう日時や場所、周知方法等を検討する。	A	80 75 74	現状維持 現状維持 現状維持	【成績の方向性】 ・年間6回行っているくらしを考える講座を4回に縮小し、1回の参加者数を増やす。 ・現状の方向性を1回設計・対象を広げる。 【コストの方向性】 ・講師謝礼が高くなっていることから、回数を減らしても同様のコストがかかると思われる。			市民環境部 市民協働課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	現状の取組により一定程度の効果が出ており、引き続き人権・多様性を尊重する意識を高める必要があることから、現状の方向性で施策を維持していく。
---------	---

担当課評価	成績の方向性		コストの方向性		担当所管	
	A	1	事業	B	1	事業
	拡充	0	事業	現状維持	2	事業
	現状維持	2	事業	現状維持	2	事業
	縮小	0	事業	縮小	0	事業
	休廃止	0	事業	休廃止	0	事業



令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 62-63 ページ)

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	13 地域コミュニティの醸成・活性化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。



■ 施策の主な取り組み

① 自治会活動の支援

円滑な自治振興の実現のため、地域コミュニティの核である自治会の安定的な運営を支援します。また、自治会の協力のもと、地域の安全安心に関わる設備等の設置を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
①-1	自治会活動支援事業	自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設置の整備に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、自治会及び自治連合会と連携し、自治会未加入者への加入促進を図るとともに、自治会と各種地域団体との連携を促進し、地域活動の活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初			目標値		
			(R1)	R6	R10	R14		
自治会加入率	%	自治会加入世帯数／4月1日時点の世帯数	87.2	88	90	92		
自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	回	自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	0	1	2	3		

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (9月末)	目標達成度 (R6年度比)	
83.5	88.0	82.8	82.8	94.1%	市民環境部 市民協働課
0	1	0	0	0.0%	市民環境部 市民協働課

② 市民公益活動団体の支援

ボランティアやNPO等の市民公益活動団体の地域での活動を支援することで、地域の活性化を促進します。また、市民公益活動団体同士が繋がり、発展できるように、コーディネーターの役割を担います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
②-1	市民公益活動団体支援事業	市民公益活動団体の活動に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、活動報告会や市民主体のイベントを実施することで、団体同士のつながりや市民や市内事業者等、あらわる主体との相互交流の機会を設け、市民活動のさらなる活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初			目標値		
			(R1)	R6	R10	R14		
まちづくり提案活動支援事業補助金申請件数	件	まちづくり提案活動支援事業補助金の申請件数	19	25	25	30		

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (9月末)	目標達成度 (R6年度比)	
20	25	10	10	40.0%	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課 評議会 (A/B/C)	今後の方向性			担当所管
					3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1	自治会活動支援事業	【実績】 ・輸入者や自治会幹部等に自治会加入促進のパンフレットや啓発品を配布した。 ・自治会が実施する防犯灯・防犯カメラ・通信設備・集会所等の整備事業について、自治連合会総会や定期例会の際に自治会長へ活用を促すとともに、適切に補助金を支給した。 【課題】 ・自治連合会と地域団体との協働事業に係る実施方法について検討を重ねたが、自治連合会の会務計画上、実施できる余地がなかった。	B	100 72 85	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・自治会の事業が減少してきているが、自治会は地域に根ざした互助の基礎となる組合での活動が継続しているように引き続きパンフレット配布を行い、加入率向上に努める。 ・地域住民の福祉の増進や自治会業務の効率化及び負担の軽減を支援するために、引き続き各種補助金事業の利用促進に努める。 【課題】 ・行政機関との連携強化による協働事業の実施を図ること。 【改善策】 ・引き続き、自治会活動や自治会業務の効率化及び負担の軽減を支援するため、現状維持。	市民環境部 市民協働課	
②-1	市民公益活動団体支援事業	【実績】 ・補助金申請は10件+10事業の合計が申請があった。 ・スキルアップセミナーを2回開催した。参加者数:30名(見込) 【課題】 ・行政提案型の事業について、事業内容の調整を適切に行えるよう市民団体とテーマ担当課に周知していく必要がある。	B	75 45 75	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・これまで市民団体が活動することでまちの活性化につながることから、まちづくり提案活動支援事業は今後も継続していく。 【課題】 ・説明会だけでなく、申請時の個別相談など現在対応していることを継続する。 【改善策】 ・引き続き、自治会活動や自治会業務の効率化及び負担の軽減を支援するため、現状維持。	市民環境部 市民協働課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・引き続き、自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の整備に対する補助金の交付等の支援や、自治会加入率向上の啓発事業を行う。 ・まちづくり提案活動支援事業の周知について、引き続きSNS等の活用を継続する。
---------	---

担当課評議会	成績の方向性		コストの方向性	
	A	0 事業	B	0 事業
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大
B	2 事業	現状維持	2 事業	現状維持
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小
		休廃止	0 事業	休廃止

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 64-65 ページ)

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	14 文化芸術の振興・多文化共生

★ 目指す姿

多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。



■ 施策の主な取り組み

① 文化的発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要				総合戦略
①-1	文化施設管理・運営事業	指定管理者制度による文化施設の維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動を促進します。				●
①-2	地域交流センター管理・運営事業	指定管理者制度による地域交流センターの維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、地域での市民交流を活性化します。				●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	目標値			
			計画当初 (R1)	R6	R10	R14
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働率/年間利用可能枠数	44.2	45	48	50
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000
地域交流センター稼働率	%	年間稼働率/年間利用可能枠数	23.6	25	30	35
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗				担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (末年度末)	目標達成度 (R6年度L1)	担当所管	
38.8	45	33.7	39.3	87.3%	●	教育部 生涯学習課
72,988	97,000	31,704	72,238	74.5%	●	教育部 生涯学習課
28.0	29	29.0	30.7	105.9%	●	市民環境部 市民協働課
54,600	55,000	31,209	63,486	115.4%	●	市民環境部 市民協働課

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え方、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要				総合戦略
②-1	文化・国際交流活動事業	国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し、セミナーやイベント等を開催します。				●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	目標値			
			計画当初 (R1)	R6	R10	R14
国際交流事業実施回数	回	国際交流事業の実施回数	2	3	4	4

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗				担当所管
		中間値 (9月末)	実績値 (末年度末)	目標達成度 (R6年度L1)	担当所管	
4	3	1	2	66.7%	●	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	担当所管
		実績と課題		担当課評定 (A/B/C)	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	文化施設管理・運営事業	◎文化施設の運営、維持管理 他 【実績】 -施設の運営については、指定管理者と随時約2回の調整会議や年4回の連絡調整会議により情報共有を行っており、年度終了後は年次報告書を作成して提出している。 -「ふたかみ文化センター」では、年次報告書を作成して提出している。 -利用者のアンケート結果等についても好評であるので、引き続き市民に文化・芸術に触れる機会を創出し続けていくよう連携して進めしていく。 【課題】 -施設の利用実績向上を図り、稼働率向上を図るために、広報等により施設の利用促進を図る。 -施設の改修、備品購入。 -開設設備LED化そのための設計、工事を実施。市民の利便性を損なわないよう、計画的に実施する。 -施設の改修、備品購入。 -指定管理者による施設の利用促進 (指定管理者と自ら事業として、いきいき百歳体操等を実施予定) -運営委員会による施設の運営 (施設共用部に避難口及び避難階段、1階集合室に避難口を設置) -文化施設管理者が今年度で継続年度となるため、次期指定管理者選定に向け、運営委員会の委嘱、募集要項、仕様書等の作成を行い、指定管理の選定を行つ。	72	A	現状維持	【成果の方向性】 -文化施設の運営については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針により、情報共有が取れることもあり、その状況により施設改修に対する判断が必要となる。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容を改善しながら指定管理者とともに事業を進めていく。 -中央公民館など施設所附属である美術展覧会については、来場者数を増やすため、施設改修に向かって、ひたちなか文化センターへ開設を検討している。 【課題】 -文化施設の運営については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針により、情報共有が取れることもあり、その状況により施設改修に対する判断が必要となる。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容を改善しながら事業内容の更新、見直しも行っていく。 -【費用】 -文化施設の運営については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針により、情報共有が取れることもあり、その状況により施設改修に対する判断が必要となる。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容の更新、見直しも行っていく。 -【運営】 -文化施設の運営については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針により、情報共有が取れることもあり、その状況により施設改修に対する判断が必要となる。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容の更新、見直しも行っていく。	教育局 生涯学習課
①-2	地域交流センター管理・運営事業	◎地域交流センターの運営、維持管理 他 【実績】 -指定管理者による施設の運営、維持管理 -利用者は目標値を上回っており、また、昨年度より実施している自主事業(こども教室)を継続して実施したことにより、利用促進が図られた。 -指定管理者による施設の利用促進 (指定管理者と自ら事業として、いきいき百歳体操等を実施予定) -運営委員会による施設の運営 (施設共用部に避難口及び避難階段、1階集合室に避難口を設置)	72		現状維持	【成果の方向性】 -施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」について、地縁団体としての強みを活かして今後も継続して行なっていく。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容を改善しながら事業内容の更新、見直しも行っていく。 -【費用】 -施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」については老朽化に対応する必要があるためコスト増の方向性がある。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容の更新、見直しも行っていく。 -【運営】 -施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」については老朽化に対応する必要があるためコスト増の方向性がある。 -「かしまアートweeeeek(美術展覧会)」は一昨年開催後、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容の更新、見直しも行っていく。	市民環境部 市民協働課
②-1	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	64	A	現状維持	【成果の方向性】 -市民の国際理解、国際交流を促進するため、国際交流セミナーを継続して実施する。 -令和5年7月末のCIR選定に併せ、昨年度は4回開催しているが2回に縮小する。 -開催回数が減少するが、昨年度まではCIRが講師として講座を開催していたので、講師登録がかかるため現状維持。	市民環境部 市民協働課
②-2	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	95	A	現状維持	【成果の方向性】 -施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」について、地縁団体としての強みを活かして今後も継続して行なっていく。	市民環境部 市民協働課
②-3	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	85	A	現状維持	【成果の方向性】 -施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」について、地縁団体としての強みを活かして今後も継続して行なっていく。	市民環境部 市民協働課
②-4	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	90	A	現状維持	【成果の方向性】 -施設の設置目的である「地域住民の相互交流を促進」について、地縁団体としての強みを活かして今後も継続して行なっていく。	市民環境部 市民協働課
②-5	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	75	A	現状維持	【成果の方向性】 -市民の国際理解、国際交流を促進するため、国際交流セミナーを継続して実施する。	市民環境部 市民協働課
②-6	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	59	A	現状維持	【成果の方向性】 -市民の国際理解、国際交流を促進するため、国際交流セミナーを継続して実施する。	市民環境部 市民協働課
②-7	文化・国際交流活動事業	◎文化・国際交流活動事業 【実績】 -国際交流セミナーを2回(8月、1月)開催した。参加人数:28名 【課題】 -年間のCIRの選定に併せ、今年度は開催回数や登録件数が減少したため、少ない回数でより多くの人に発信できるよう、開拓方法や開催内容について検討が必要。 -国際交流セミナーの開催(年2回を予定)	82	A	現状維持	【成果の方向性】 -市民の国際理解、国際交流を促進するため、国際交流セミナーを継続して実施する。	市民環境部 市民協働課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性

- ・目指す姿である「多種多様な文化活動が活発に行われる」ことを実現するため、指定管理者との連絡調整を図りながら、ハード、ソフト両面での充実を図っていく。
- ・引き続き指定管理者との連携を取り、大切な賛同事業や自主事業を通じて、地域住民の相互通交を促進する。
- ・国際交流セミナーは昨年度と同様、満足度は約9割となっていたため、現状の方向性で施策を維持していく。

担当課評定	成果の方向性	コストの方向性
A 3 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 0 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
休廃止 0 事業	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 66-68 ページ)

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★ 目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学ぶる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働率/年間利用可能率	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

前年度実績値		今年度の進捗			担当所管
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
28	35	27	30	85.7%	教育部 生涯学習課
50,457	70,000	22,674	55,221	78.9%	教育部 生涯学習課

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室・イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働率/年間利用可能率	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

前年度実績値		今年度の進捗			担当所管
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
54.3	51	51.3	52	102.0%	教育部 生涯学習課
229,940	220,000	106,956	213,523	97.1%	教育部 生涯学習課

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るために、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報収集、保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書力や学習力等のレベルの児童を図ることとともに、電子書籍の充実や移動図書館車(ふくろう号)の巡回等により、利用環境を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館ではおなじみ会員登録を開始するほか、学校・幼稚園・保健所等を訪問し、ブックターフやおなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示・イベントを開催します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	—	154,000	159,000	168,000

前年度実績値		今年度の進捗			担当所管
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
1.6	1.8	0.8	1.6	88.9%	教育部 市民図書館
186,044	187,000	98,984	186,042	99.5%	教育部 市民図書館

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	今後の方向性		担当所管	
					3視点	所管判定		
①-1	生涯学習機会提供事業	今年度の事業実施計画	①-1 生涯学習機会提供事業	A	72	成績の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	教育部 生涯学習課
						必要性 有効性 効率性	コストの方向性	
②-1	スポーツ活動支援事業	今年度の事業実施計画	②-1 スポーツ活動支援事業	B	77	現状維持	【成績の方向性】 今年で2回目の開催となった「夏のかしまばアカデミー」では、市民が講師となり、自身の得意など、引き続き職員の負担軽減について改善して下さい。 【課題】 社会教育関係団体の育成においては、各団体とも講師の減少により存続が難しくなっている団体もいるが、人員増を図りながら、新たな活動形態を模索している。 【方針】 「夏のかしまばアカデミー」はコスト(人件費)かかる事業であるが、効率の効率化などによりコストの削減を行っていく。 【課題】 社会教育関係団体・学校については、コスト維持の方向性である。	教育部 生涯学習課

②-1	スポーツ活動支援事業	<p>◎スポーツ推進委員 【実績】各種研修会への参加者の、ニュースポーツツイの実施。また昨年度に引き続き放課後子たち教室での派遣事業を行い、41校校にて向いの放課後の子どもたちに、体を動かすことの楽しさを知つてもらう体験事業を行つた。</p> <p>【課題】今後はさらに地域へ出向き、子どもからお年寄りまで、体を動かすことのきっかけ作りを広げていく。</p> <p>◎ニュースポーツ一 【実績】ボッチャや、キーボル、軽スポーツなどあらゆる世代が気軽に楽しめるニュースポーツイベントを開催。定員数を上回る申し込みがあり、128名の参加者が参加。多くの回に亘り満足度といふ回答が多く、中には「仲間的雰囲の子どもも楽しめた」という意見もあり、多様な方に体を動かしてもらうきっかけがついた。</p> <p>【課題】定員を上回る応募があり、すべての方の希望に応えられない。</p> <p>◎市民村対抗子ども駅伝 【実績】これまででは毎マラソン大会にて選手を行っていたが、昨年度に引き続き今年度も選手を2部実施し、各のメンバー選出した。 1月・3月にかけて練習会を実施。 3月日本大会。</p> <p>【課題】選考会に参加し、香芝市の駅伝チームの代表になりたいと思える子どもたちの振り回しを実現する。</p> <p>◎かわいスポーツweeeeek 【実績】これまででは毎マラソン大会にて選手を行っていたが、昨年度に引き続き今年度も選手を2部実施し、各のメンバー選出した。 1月・3月にかけて練習会を実施。 3月日本大会。</p> <p>【課題】選考会に参加し、香芝市の駅伝チームの代表になりたいと思える子どもたちの振り回しを実現する。</p> <p>・スポーツ推進委員 委員会運営と利用者説明会を実施し、今年度事業について協議する。今年度は社会体育振興モデル市町村となることから、地域でのスポーツ普及活動を行う。</p> <p>・市町村対抗子ども駅伝 駅伝に向け、11・12月頃選考会を実施。3月の本番に向け、スポーツ協会協力のもと、練習会を開催する。</p> <p>・二つの大会開催 2月頃、スポーツ推進委員協力のもと、ニュースポーツ、軽スポーツを集めたイベントを市民間に実施。</p> <p>・かわいスポーツweeeeek スポーツの競技力向上のためのスポーツ教室として2/20にバスケットボール教室、9/23にサッカー教室を開催し、10/14には親子で体を動かすことを楽しむ「パンチドリル大会」を開催。また市役所管理者と連携し、その他のスポーツイベントを開催する。</p> <p>・施設改修 北部地域体育馆の長寿寿命化改修工事及び外部トイレ化工事、また総合体育馆観覧正面に前修繕工事を実施。</p>	85	拡充		教育部 生涯学習課
③-1	資料情報提供事業	<p>【実績】今年度も、継続して、市民図書館の蔵書更新を行い、電子図書館では、児童書読み放題の「ぱくと3種類導入した。市民図書館の蔵書新鮮度は、概ね例通りとなる。</p> <p>・図書館システムの更新を11月に実施。LINE連携による蔵書登録のWebサービスが利用できるLINE連携による蔵書登録が可能となりました(MY本棚等)、Webでのサービスが利用できるようになりました。また、市民図書館公式LINEアカウントの登録者は、開設から3ヶ月で400人を突破しました。</p> <p>・本事業は、企業版によるさくら納税およびボーナス振り廻し助成金を活用して実施しております。運営をしながら、多くの方に満足度の高い事業となっているため、今後も継続して実施していきます。</p> <p>【課題】5月に奈良県初のリーグクラブである奈良クラブの現役選手・コーチが実技をアシスタントとして、児童書読み放題の「ぱくと3種類」を教える教室を開催した結果60名のところ14名の申込があり、大盛況であった。</p> <p>【施設・設備改修】 【実績】10月にスポーツ活動に参加しない市民にも参加しやすい「スポーツアトラクション」による体力測定会を開催した。定員を大幅に超える多くの申込みがあり、申込者を100名へ膨らみ最終のシート大会の分、当日は75名のみ参加が可能でした。</p> <p>【課題】9月に奈良県初のリーグクラブである奈良クラブの現役選手・コーチが実技をアシスタントとして、児童書読み放題の「ぱくと3種類」を教える教室を開催した結果60名のところ14名の申込があり、大盛況であった。</p>	A 85	拡大		教育部 生涯学習課
③-2	読書普及活動事業	<p>【実績】今年度も、継続して、市民図書館の蔵書更新を行い、電子図書館では、児童書読み放題の「ぱくと3種類導入した。市民図書館の蔵書新鮮度は、概ね例通りとなる。</p> <p>・図書館システムの更新を11月に実施。LINE連携による蔵書登録が可能となりました(MY本棚等)、Webでのサービスが利用できるようになりました。また、市民図書館公式LINEアカウントの登録者は、開設から3ヶ月で400人を突破しました。</p> <p>・本事業は、企業版によるさくら納税およびボーナス振り廻し助成金を活用して実施しております。運営をしながら、多くの方に満足度の高い事業となっているため、今後も継続して実施していきます。</p> <p>【課題】5月に奈良県初のリーグクラブである奈良クラブの現役選手・コーチが実技をアシスタントとして、児童書読み放題の「ぱくと3種類」を教える教室を開催した結果60名のところ14名の申込があり、大盛況であった。</p> <p>【施設・設備改修】 【実績】北部地域体育馆の長寿寿命化改修工事及び外部トイレ化工事は10月末に竣工。11月より快適な環境で利便してもらいたい好評である。また総合体育馆観覧正面に入口前修繕工事も完了。タイル剥落・隆起などの危険箇所を改修し、安全な環境を提供できている。</p> <p>【課題】特になし</p>	B 72	拡大		教育部 市民図書館

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<p>目標達成度である「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく学習やスポーツに取り組むことができる環境を整える」ことを実現するため、生徒学習基本計画の基本目標である「学ぶ」機会及び学んだことを「かかげる」機会の提供、そして学ぶ環境の充実を目指していく。</p> <p>・絵画の審査代行を促進し、多くの市民が気軽に市民図書館を利用できるよう環境を整備するとともに、学校園や図書館等での連携の継続、図書館を活用するためのアドバイザリーセンター設置、電子図書館サービスの実施により身边で図書ができる環境の創出を図り、図書館利用につなげていく。</p>
---------	--

担当課評価	成績の方向性		コストの方向性	
	A	2 事業	B	2 事業
	拡充	1 事業	拡大	2 事業
	現状維持	3 事業	現状維持	2 事業
	縮小	0 事業	縮小	0 事業
	休廻止	0 事業	休廻止	0 事業

③-1	資料情報提供事業	<p>【成績の方向性】 ・スポーツ推進委員事業については、昨年度より地域でのスポーツ普及を目指し、地域への派遣事業を行っており、好評である。引き続き、地域への派遣事業の制度化を行って、スポーツ普及を図っていく。</p> <p>・各スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行った機会や懇親会の拡大のため、参加者数を100名へ膨らみ最終のシート大会の分、当日は75名の参加があった。</p> <p>【コストの方向性】 ・スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行った機会や懇親会の拡大のため、参加者数を100名へ膨らみ最終のシート大会の分、当日は75名の参加があった。</p> <p>【コストの方向性】 ・スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行った機会や懇親会の拡大のため、参加者数を100名へ膨らみ最終のシート大会の分、当日は75名の参加があった。</p> <p>【コストの方向性】 ・スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行った機会や懇親会の拡大のため、参加者数を100名へ膨らみ最終のシート大会の分、当日は75名の参加があった。</p>	90	現状維持		教育部 市民図書館
③-2	読書普及活動事業	<p>【成績の方向性】 ・児童向け定期車両平均参加者数は前年度より伸び傾向にある。一般向けの講座等のイベントも増加傾向にある。 ・児童向け定期車両平均参加者数は前年度に参加者数が減少し、平均参加者数が前年度より減少した。</p> <p>【施設・設備改修】 【実績】北部地域体育馆の長寿寿命化改修工事及び外部トイレ化工事は10月末に竣工。11月より快適な環境で利便してもらいたい好評である。また総合体育馆観覧正面に入口前修繕工事も完了。タイル剥落・隆起などの危険箇所を改修し、安全な環境を提供できている。</p> <p>【課題】特になし</p>	B 72	拡大		教育部 市民図書館

③-2	読書普及活動事業	<p>【成績の方向性】 ・児童向け定期車両平均参加者数は前年度より伸び傾向にある。一般向けの講座等のイベントも増加傾向にある。 ・児童向け定期車両平均参加者数は前年度に参加者数が減少し、平均参加者数が前年度より減少した。</p> <p>【施設・設備改修】 【実績】北部地域体育馆の長寿寿命化改修工事及び外部トイレ化工事は10月末に竣工。11月より快適な環境で利便してもらいたい好評である。また総合体育馆観覧正面に入口前修繕工事も完了。タイル剥落・隆起などの危険箇所を改修し、安全な環境を提供できている。</p> <p>【課題】特になし</p>	80	現状維持		教育部 市民図書館
		<p>【成績の方向性】 ・児童向け定期車両平均参加者数は前年度より伸び傾向にある。一般向けの講座等のイベントも増加傾向にある。 ・児童向け定期車両平均参加者数は前年度に参加者数が減少し、平均参加者数が前年度より減少した。</p> <p>【施設・設備改修】 【実績】北部地域体育馆の長寿寿命化改修工事及び外部トイレ化工事は10月末に竣工。11月より快適な環境で利便してもらいたい好評である。また総合体育馆観覧正面に入口前修繕工事も完了。タイル剥落・隆起などの危険箇所を改修し、安全な環境を提供できている。</p> <p>【課題】特になし</p>	82	現状維持		教育部 市民図書館

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 66-68 ページ)

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

★ 目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。



■ 施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初		目標値		
			(R1)	R6	R10	R14	
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000	
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	758	800	850	900	

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合観察
①-1	博物館活性化事業	博物館DX化推進事業により、誰もが楽しく学び、知的体験を楽しめるデジタルミニゲームの実現を目指します。また、特別展や講演会・講座の開催、学校との連携による博学連携教育の推進等、多様な年齢層へ本市の歴史文化財の魅力向上に繋げる事業を展開します。	●

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合観察
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、歴史文化財に対する理解を深め、文化財の魅力を発信します。	●
②-2	市史編纂事業	市史編纂委員会委員会の入選を行い、編集方針や内容・構成などの市史編纂に伴う基本計画を策定するとともに、執筆編集を行う市史編纂委員会の委員の入選を進め、市史編纂に向けての組織体制を整備します。	

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初		目標値		
			(R1)	R6	R10	R14	
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45	
史跡公園利用者数	人	尼寺庵跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700	

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
8,277	10,000	4,933	8,774	87.7%	教育部 文化財課
1,359	1,400	1,798	1,921	137.2%	教育部 文化財課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性			担当所管
			3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1	博物館活性化事業	【実績】博物館DX化事業において、「視覚」にこだわった博物館としての機能を強化したことにより、利用者の展示内容への理解が深まった。 【課題】博物館運営において、地元の園児・児童また生徒の来館者が増え、また、連携事業によって声量を増加したところから、施設設備の負担が増加している。 【改善】連携した普及・啓発を図り、再訪者を含めた来館者の増加を図ることが課題である。	A	75 現状維持 必要性 有効性 効率性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていための方策等について記入	教育部 文化財課
	文化財保護啓発事業	【実績】尼寺庵跡学習館では博学連携教育や本課主催事業(アドベンチャーレッスン、市民の歴史講座等)により、認知度が上昇している。 【課題】文化財保護指揮委員会による、尼寺庵跡学習館の歴史が伝わるよう、努めている。 【改善】尼寺庵跡学習館の歴史が伝わるよう、認知度が上昇している。	A	74 現状維持 必要性 有効性 効率性	【成果の方向性】昨年度より尼寺庵跡学習館で行なわれた「尼寺庵跡学習館」にて、尼寺庵跡の歴史が伝わるよう、努めている。 【改善】尼寺庵跡学習館の歴史が伝わるよう、認知度が上昇している。	教育部 文化財課
	市史編纂事業	【実績】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。 【課題】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。 【改善】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。	B	80 拡大 現状維持 必要性 有効性 効率性	【成果の方向性】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。 【改善】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。	教育部 文化財課
②-2	市史編纂事業	【実績】今年度は、市史編纂委員会を2回開催し、各部会の部会長の選出について審議した。 【課題】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。 【改善】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。	B	85 拡充 現状維持 必要性 有効性 効率性	【成果の方向性】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。 【改善】市史編纂委員会は定期5周年の記念事業として、中央公民館でパネル展を開催した。	教育部 文化財課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 博物館DX化事業によって整備した博物館について、スポット展等と併せて広報・告知し、利用者のサービス向上を推進する。 中学生の歴史観を形成するため、定期的に歴史観を継承するため、歴史講座や講演会・講座等を通じて、本市の文化財の普及啓発をおこない、文化財保護についての理解を深める。 大和古丘堂跡物語の調査及び保存の措置を継続して実施する。また、大学及び研究機関等との共同調査・研究を進め、市史への基礎資料とすることで、歴史観を深めることで、市史編纂事業の進捗状況を市民に周知する。
---------	---

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	A	2 事業	B	1 事業
C	0 事業			

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	A	2 事業	B	1 事業
A	2 事業			
B	1 事業			
C	0 事業			

